

区分	番号	学位論文	全著者名、論文名、掲載誌名、掲載年；巻（号）：ページ番号	国際共同
英文原著	1		Takanori Watanabe, Hiroshi Yagata, Mitsue Saito, Hiroko Okada, Tamiko Yajima, Nao Tamai, Yuko Yoshida, Tomoko Takayama, Hirohisa Imai, Keiko Nozawa, Takafumi Sangai, Akiyo Yoshimura, Yoshie Hasegawa, Takuhiro Yamaguchi, Kojiro Shimozuma, Yasuo Ohashi : A multicenter survey of temporal changes in chemotherapy-induced hair loss in breast cancer patients. PLOS ONE, 14(1):e0208118,2018	
英文原著	2		Ryoko Taguchi, Yukako Okude, and Mitsue Saito : What causes patients with breast cancer to change employment?: evidence from the health insurance data in a medical facility. Industrial Health, 57, 29-39, 2019 received 13 March, 2018 and accepted 9 August , 2018 Published online in J-STAGE 11August ,2018	
英文原著	3		Nakai K, Xia W, Liao HW, Saito M, Hung MC, Yamaguchi H :The role of PRMT1 in EGFR methylation and signaling in MDA-MB-468 triple-negative breast cancer cells. Breast Cancer. 25(1):74-80, 2018	
英文原著	4		Hirohito Yamaguchi, Yi Du, Katsuya Nakai, Ming Ding, Shih-Shin Chang, Jennifer L. Hsu, Jun Yao, Yongkun Wei, Lei Nie, Shiping Jiao, Wei-Chao Chang, Chung-Hsuan Chen, Yonghao Yu, Gabriel N. Hortobagyi, Mien-Chie Hung.: EZH2 contributes to the response to PARP inhibitors through its PARP-mediated poly-ADP ribosylation in breast cancer. Oncogene. 37(2): 208-217, 2018	
英文原著	5		Yoshiya Horimoto, Emi Tokuda, Fumi Murakami, Toshitaka Uomori, Takanori Himuro, Katsuya Nakai, Gotaro Orihata, Kotaro Iijima, Shinsaku Togo, Hideo Shimizu and Mitsue Saito : Analysis of circulating tumour cell and the epithelial mesenchymal transition (EMT) status during eribulin-based treatment in 22 patients with metastatic breast cancer: a pilot study. Journal of Translational Medicine 16:287, 2018	
英文原著	6		Yoshiya Horimoto, Masahiko Tanabe, Saiko Kazuno, Yoshiki Miura, Kaoru Mogushi, Hiroshi Sonoue, Atsushi Arakawa, Kazunori Kajino, Toshiyuki Kobayashi, Mitsue Saito : Elucidation of inhibitory effects on metastatic sentinel lymph nodes of breast cancer during One-Step Nucleic Acid Amplification. Scientific Reports 8:7563, 2018	
英文原著	7		Misato Okazaki, Yoshiya Horimoto, Masahiko Tanabe, Yuko Ichikawa, Emi Tokuda, Atsushi Arakawa, Toshiyuki Kobayashi, Mitsue Saito: Predictive markers for efficacy of everolimus plus exemestane in patients with luminal HER2-negative metastatic breast cancer. Medical Oncology 35:48, 2018	
英文原著	8		Yoshiya Horimoto, Tetsuro Hirashima, Atsushi Arakawa, Hiroyoshi Miura and Mitsue Saito : Metastatic colonic and gastric polyps from breast cancer resembling hyperplastic polyps. Surgical Case Reports 4:23, 2018	
英文原著	9		Ritsuko Sasaki, Yoshiya Horimoto, Ju Mizuno, Yoko Edahiro, Tsukasa Ohmori, Norio Komatsu, Mitsue Saito : Administration of plasma-derived coagulation factor VIII during the perioperative period of mastectomy for breast cancer with acquired von Willebrand syndrome. Surgical Case Reports 4:118, 2018	
英文原著	10		Yuko Yoshida-Ichikawa, Masahiko Tanabe, Emi Tokuda, Hideo Shimizu, Yoshiya Horimoto, Kayo Miura, Mitsue Saito: Overcoming the Adverse Effects of Everolimus to Achieve Maximum Efficacy in the Treatment of Inoperable Breast Cancer: A Review of 11 Cases at Our Hospital. Case Reports in Oncology 11:511-520, 2018	
区分	番号		発表者名、発表タイトル（題目・演題・課題等）、学会名、場所、発表年月日等	国際共同
国際学会発表	1		Yoshiya Horimoto, Takako Terao, Yuko Tsutsumi, Masahiko Tanabe, Kaoru Mogushi, Atsushi Arakawa, Hiroshi Sonoue, Mitsue Saito.: Elucidation of frequent HER2 overexpression in ductal carcinoma in situ. The 11th European Breast Cancer Conference , Barcelona, Spain, 23th March, 2018	

国際学会発表	2		Misato Okazaki,Yoshiya Horimoto,Miki Noji,Haruhiko Fujihira,Katrin Ishii-Schrade,Madoka Matsuzawa,Kaori Denga-Nagai,Kaoru Mogushi,Mitsue Saito and Tatsuro Irimura:Glycosylation in the therapy of triple negative breast cancer, Presented at Frontiers 2018 Symposium,EPFL,Lausanne, 21th September,2018	
区分	番号	学位論文	全著者名、論文名、掲載誌名、掲載年；巻（号）：ページ番号	国際共同
和文原著	1		齊藤光江：特別企画(7)【女性外科医のキャリアパス】7.これからの外科医育成—多様なgender differenceを考慮した、大学での実践例。日本外科学会雑誌第120巻, 2018、第1号：page126-128	
和文原著	2		齊藤光江：【外科医を育てる！】自施設の教育プログラムから。臨床雑誌「外科」第80巻，2018、第11号：page1157－1160	
区分	番号		全著者名、書籍名、出版社名、出版年；巻（号）：ページ番号等	国際共同
和文著書	1		齊藤光江,監修者 小室一成，編者 向井幹夫, 実践Onco-Cardiology—がん臨床医と循環器医のための新しいテキスト, 中外医学社，2018；「5.がんサバイバーと腫瘍循環器」	
区分	番号		発表者名、発表タイトル（題目・演題・課題等）、学会名、場所、発表年月日等	国際共同
国内学会発表	1		齊藤光江（演者），大学病院の外来化学療法室における就労と癌治療両立実態調査中間報告。第88回日本衛生学会学術総会，東京，2018年3月22日－24日	
国内学会発表	2		齊藤光江（演者），薬剤師によるアカデミック・ディテリングへの期待。日本薬学会第138年会，金沢，2018年3月27日－8日	
国内学会発表	3		齊藤光江（演者），これからの外科医育成—多様なgender difference を考慮した大学での実践例。第118回日本外科学会定期学術集会，東京，2018年4月5日－7日	
国内学会発表	4		齊藤光江（演者），明るいサバイバーシップを目指した若年性乳がん患者の診察。ワークショップ。第26回日本乳癌学会学術総会，京都，2018年5月16日－18日	
国内学会発表	5		齊藤光江（演者），がん治療と仕事の両立問題。第59回日本社会医学学会総会，栃木，2018年7月21日	
国内学会発表	6		齊藤光江（演者），抗がん剤の吐き気は予防ができるの？—ガイドラインを参考に。第3回日本がんサポーターケア学会，福岡，2018年9月1日	
国内学会発表	7		齊藤光江（演者），職場の男女共同参画は家庭から—上司の役割。第80回日本臨床外科学会総会，東京，2018年11月23日	
国内学会発表	8		飯島耕太郎，池永素子，佐々木律子，松澤円佳，岡崎みさと，猪狩文江，氷室貴規，魚森俊喬，村上郁，堀本義哉，中井克也，入村達郎，齊藤光江，細胞診画像の3Dデータでの収集と活用。第26回日本乳癌学会総会，京都，2018年5月16-18日	
国内学会発表	9		萩谷朗子，岩瀬拓士，藤島成，秋吉清百合，米倉理香，植弘奈津恵，高橋洋子，稲荷均，照屋なつき，片岡明美，中島絵里，北川大，酒井威彦，飯島耕太郎，森園英智，宮城由美，上野貴之，大野真司，郭清，センチネルリンパ節生検の術後1、3、5年のリンパ浮腫発生頻度と経年的変化について。第26回日本乳癌学会総会，京都，2018年5月16日-18日	
国内学会発表	10		久保真，河合賢朗，隈丸拓，中村清吾，津田均，徳田裕，吉田正行，青儀健二郎，阿南敬生，飯島耕太郎，石田孝宜，板谷貴司，新倉直樹，増岡秀次，宮田裕章，小島康幸，相良安昭，林直樹，岩本高行、HER2陽性原発性乳癌の治療最適化 NCD解析から見えてくるHER2陽性pT1乳癌の予後と治療効果。第26回日本乳癌学会総会，京都，2018年5月16日-18日	
国内学会発表	11		中井克也，堀本義哉，荒川敦，齊藤光江，川島博人，入村達郎，乳癌における高内皮細静脈の発現状況について。第26回日本乳癌学会学術総会，京都，2018年5月16日－18日	

国内学会発表	12	Yoshiya Horimoto, Takako Terao, Yuko Tsutsumi, Masahiko Tanabe, Kaoru Mogushi, Atsushi Arakawa, Hiroshi Sonoue, Mitsue Saito Elucidation of frequent HER2 overexpression in ductal carcinoma in situ. 第107回日本病理学会, 札幌, 2018年6月22日
国内学会発表	13	Yoshiya Horimoto, Fumi Murakami, Mitsue Saito, Circulating tumour cell analysis to predict efficacy of Eribulin for metastatic breast cancer patients. 第77回日本癌学会, 大阪, 2018年9月28日
国内学会発表	14	清水秀穂, 当院におけるFEC100療法におけるのペグフィルグラステム(一次的予防)の使用経験. 第26回日本乳癌学会総会, 京都, 2018年5月16日-18日
国内学会発表	15	鹿内彩菜, 魚森俊喬, 仙波遼子, 岩間敬子, 明神真由, 佐々木律子, 猪狩史江, 村上郁, 清水秀穂, 堀本義哉, 中井克也, 飯島耕太郎, 饗庭恵美子, 水野博司, 荒川敦, 齊藤光江, 当院におけるNipple-sparing mastectomyの経験. 第43回日本外科系連合学会学術集会, 東京, 2018年6月23日
国内学会発表	16	魚森俊喬, 堀本義哉, 荒川敦, 飯島耕太郎, 齊藤光江, 閉経後乳癌における肥満患者の病理組織学的特徴. 第26回日本乳癌学会学術総会, 京都, 2018年5月16-18日
国内学会発表	17	魚森俊喬, 堀本義哉, 荒川敦, 飯島耕太郎, 齊藤光江, 痩せ型の閉経後乳癌の病理組織学的特徴. 第26回日本乳癌学会総会, 京都, 2018年5月16日-18日
国内学会発表	18	猪狩史江, 岩間敬子, 佐々木律子, 魚森俊喬, 氷室貴規, 村上郁, 堀本義哉, 中井克也, 三浦佳代, 飯島耕太郎, 齊藤光江, 荒川敦, 佐藤永一, 当院における肉芽腫性乳腺炎の臨床実験と免疫病理学的検討. 第26回日本乳癌学会学術総会, 京都, 2018年5月17日
国内学会発表	19	村上郁, 田村智英子, 恒松由記子, 齊藤光江, 当院でのHBOCに対する診療体制の整備について. 第26回日本乳癌学会総会, 京都, 2018年7月17日
国内学会発表	20	村上郁, 楠木総司, 藤野一成, 木村美葵, 寺尾泰久, 田村智英子, 恒松由記子, 齊藤光江, 当院におけるHBOC診療の現状. 第24回家族性腫瘍学会学術集会, 神戸, 2018年6月8日
国内学会発表	21	村上郁, 仙波遼子, 佐々木律子, 明神真由, 猪狩史江, 魚森俊喬, 清水秀穂, 堀本義哉, 中井克也, 飯島耕太郎, 新井正美, 齊藤光江, PARP阻害剤の承認に伴うHBOC診療の現状. 第15回日本乳癌学会関東地方会, 大宮, 2018年12月1日
国内学会発表	22	仙波遼子, 高橋由佳, 佐藤英章, 山崎早苗, 中村香織, 佐藤雅彦, 当院で経験した手術可能なT4乳癌症例の検討. 第26回日本乳癌学会学術総会, 京都, 2018年5月16日
国内学会発表	23	仙波 遼子, 高橋 由佳, 佐藤 雅彦, 石戸 保典, 渡部 英, 根上 直樹, 齋藤 徹也, 岡田 治彦, 山田正樹, 盧尚志, 佐藤英章, 山崎 早苗, 当院で経験したSolid papillary carcinoma(SPC)の一例. 日本外科系連合学会学術総会, 東京, 2018年6月23日
国内学会発表	24	仙波遼子, 中井克也, 清水秀穂, 村上郁, 魚森俊喬, 猪狩史江, 明神真由, 堀本義哉, 飯島耕太郎, 荒川敦, 齊藤光江, 神経線維腫症1型に合併した乳癌の3例. 日本乳癌学会関東地方会, 大宮, 2018年12月1日
国内学会発表	25	石塚由美子, 高橋由佳, 佐藤雅彦, 山崎早苗, 佐藤英章, 当院で経験した紡錘細胞癌の1例. 第15回日本乳癌学会関東地方会, 大宮, 2018年12月1日
国内学会発表	26	佐々木律子, 堀本義哉, 荒川敦, 岩間敬子, 猪狩史江, 魚森俊喬, 村上郁, 中井克也, 飯島耕太郎, 齊藤光江, 管状腺腫11例の臨床病理学的特徴の検討. 第26回日本乳癌学会学術総会, 京都, 2018年5月16日
国内学会発表	27	岡崎みさと, 堀本義哉, 田辺真彦, 市川悠子, 徳田恵美, 荒川敦, 小林敏之, 齊藤光江, ER陽性HER2陰性進行再発乳癌におけるエベロリムス+エキセメスタン療法の治療効果予測因子の検討. 第26回日本乳癌学会学術総会, 京都, 2018年5月17日
国内学会発表	28	松澤円佳, 堀本義哉, 岡崎みさと, 伝田香里, 荒川 敦, 齊藤光江, 入村達郎, Luminal乳癌でのMucin1糖蛋白の局在パターンによる化学療法の効果と予後に関する検討. 第26回日本乳癌学会学術総会, 京都, 2018年5月17日
国内学会発表	29	織畑 剛太郎, 荒川 敦, 白石 昭彦, 中井 克也, 飯島 耕太郎, 齊藤 光江, マンモグラフィ非描出乳がん症例の検討. 第26回日本乳癌学会総会, 京都, 2018年5月18日
国内学会発表	30	三浦弘善, 行方浩二, 市川悠子, 吉田芳, モーズ軟膏により出血のコントロールが可能であった局所進行乳癌の一例. 第26回日本乳癌学会学術総会, 京都, 2018年5月16日

国内学会発表	31	徳田恵美, 小松隆幸, 佐々木駿太, 坪井洸樹, 飯田雅史, 木村万里子, 丹羽俊文, 齊藤光江, 林慎一, mTOR阻害薬とPI3K阻害薬の内分泌療法耐性乳癌に対する作用機序の違いと阻害薬耐性獲得後の治療選択. 第26回日本乳癌学会学術総会, 京都, 2018年5月16日	
国内学会発表	32	徳田恵美, 小松隆之, 佐々木駿太, 坪井洸樹, 木村万里子, 丹羽俊文, 齊藤光江, 林慎一, 各種分子標的治療薬により内分泌療法耐性細胞が内分泌治療感受性を再獲得する可能性. 第16回日本臨床腫瘍学会学術総会, 神戸, 2018年7月19日	
国内学会発表	33	氷室貴規, 齊藤光江, 荒川敦, 飯島耕太郎, 中井克也, 堀本義哉, 村上郁, 魚森俊喬, 猪狩史江, 岩間敬子, 浸潤性小葉癌の予後因子についての検討. 第26回日本乳癌学会学術総会, 京都, 2018年5月17日	
国内学会発表	34	岩間敬子, 清水秀穂, 堀本義哉, 荒川敦, 佐々木律子, 猪狩史江, 魚森俊喬, 氷室貴規, 村上郁, 三浦佳代, 中井克也, 飯島耕太郎, 齊藤光江, 70遺伝子プロファイリングを用いた自施設前向き臨床研究の長期結果報告. 第26回日本乳癌学会学術総会, 京都, 2018年5月17日	
国内学会発表	35	高橋 由佳, 仙波遼子, 中村 香織, 山崎早苗, 佐藤 英章, 佐藤雅彦: 当院における持続型G-CSF製剤 (Pegfilgrastim) の使用経験, 第26回日本乳癌学会学術総会, 京都, 2018年5月16日	
国内学会発表	36	霞富士雄, 総会特別企画03Legendに聞く—4.乳腺「乳癌診療の今昔と将来」. 第80回日本臨床外科学会総会, 東京, 2018年11月23日	
区分	番号	発表者名、演題、学会名、場所、発表年月日等	国際共同
特別講演・招待講演	1	齊藤光江, 乳がん治療におけるアドバンスケアプランニング. 第16回日本乳癌学会北海道地方会, 北海道, 2018年8月25日	
特別講演・招待講演	2	齊藤光江, 乳癌診療における薬剤師への期待. 東京都病院薬剤師会中央支部勉強会, 東京, 2018年3月8日	
特別講演・招待講演	3	齊藤光江, 乳がん診療の向かう先. 第36回東総がんフォーラム, 千葉, 2018年2月6日	
特別講演・招待講演	4	齊藤光江, MASCC meeting with Asian experts and Supportive Care Societies at ESMO Asia Singapore. Introduction of 2021 MASCC/JASCC joint congress, MASCC Organizational meeting, シンガポール, 2018年11月24日	
特別講演・招待講演	5	Yoshiya Horimoto, Circulating tumour cell analysis to predict efficacy of Eribulin for patients with metastatic breast cancer. Anti-Cancer Treatment Japan, Tokyo, 2018年5月28日	
特別講演・招待講演	6	齊藤光江, 魚森俊喬, 総会特別企画05労働の男女共同参画は「育児の男女共同参画から」を含む諸問題提起, 第80回日本臨床外科学会総会、東京、2018年11月23日	
区分	番号	発表者名・著者名、活動内容・タイトル等、掲載・発表情報等	国際共同
その他 (広報活動を含む)	1	齊藤光江, 終末期患者の心のケアへの考察. 第21回静岡乳がんサポ-ティブケア研究会, 静岡, 2018年2月10日	
その他 (広報活動を含む)	2	齊藤光江(座長), 乳癌における最近の話題—高濃度乳房と治療のトレンド. Tokyo Multi-care Women's Forum, 東京, 2018年2月25日	
その他 (広報活動を含む)	3	齊藤光江(座長), ランチョンセミナー「乳がん患者におけるサポ-ティブケア」. 第26回日本乳癌学会学術総会, 京都, 2018年5月17日	
その他 (広報活動を含む)	4	齊藤光江 (講演), ランチョンセミナー2「化学療法誘発嘔吐事象の今後」. 第12回日本緩和医療薬学会, 東京, 2018年5月26日	
その他 (広報活動を含む)	5	齊藤光江 (座長), 乳癌に関するゲノム異常〜プレジジョンメディシン〜. 御茶ノ水乳腺研究会, 東京, 2018年5月29日	

その他 (広報活動を含む)	6	齊藤光江 (講演), 乳腺外科医にとってのアカデミック・ディテール。医学薬学フォーラム2018, 第26回クリニカルファーマシーシンポジウム, 東京, 2018年3月23日—24日	
その他 (広報活動を含む)	7	齊藤光江, 「がん患者の治療と就労の両立支援に関する研究」—医療現場・働く患者・職場の3視点から—。Mindsガイドラインライブラリ。診療ガイドライン活用事例紹介, 日本医療機能評価機構, 2018年7月18日	
その他 (広報活動を含む)	8	中井克也 (座長), ポスター 2-4 乳房。第43回日本外科系連合学会学術集会, 東京, 2018年6月23日	
その他 (広報活動を含む)	9	中井克也(司会), New treatment strategy for HR+/HER2-ABC Patients. 10th International Sentinel Node Society Meeting (ISNS2018), Department of Breast oncology. Juntendo University Hospital, 2018年10月12日	
その他 (広報活動を含む)	10	中井克也(座長), HR陽性HER2陰性再発乳癌の治療戦略 肺転移をどう診るか。転移臓器別に進行再発乳癌を考える会, 東京, 2018年12月18日	
その他 (広報活動を含む)	11	中井克也, 乳癌の治療と今後の展望。新宿区薬剤師会学術講演会, 東京, 2018年2月28日	
その他 (広報活動を含む)	12	中井克也, 再発乳癌の治療方針。Tokyo Metropolitan Breast Cancer Meeting, 東京, 2018年3月28日	
その他 (広報活動を含む)	13	清水秀穂, 70遺伝子プロファイリングを用いた自施設前向き臨床研究の長期結果報告。第12回JBCM研究会, 東京, 2018年2月24日	
その他 (広報活動を含む)	14	清水秀穂, 当院での高齢者に対するTDM-1療法の忍容性について。Breast Cancer Advanced Knowledge Meeting, 東京, 2018年4月24日	
その他 (広報活動を含む)	15	清水秀穂, HER2陽性乳癌の治療戦略を考える。Chugai Breast Cancer Board 2018, 東京, 2018年10月16日	
その他 (広報活動を含む)	16	清水秀穂, 再発乳癌におけるイブランスの位置づけについて。Pfizer Oncology East Tokyo Special Meeting for Oncologist, 東京, 2018年10月23日	